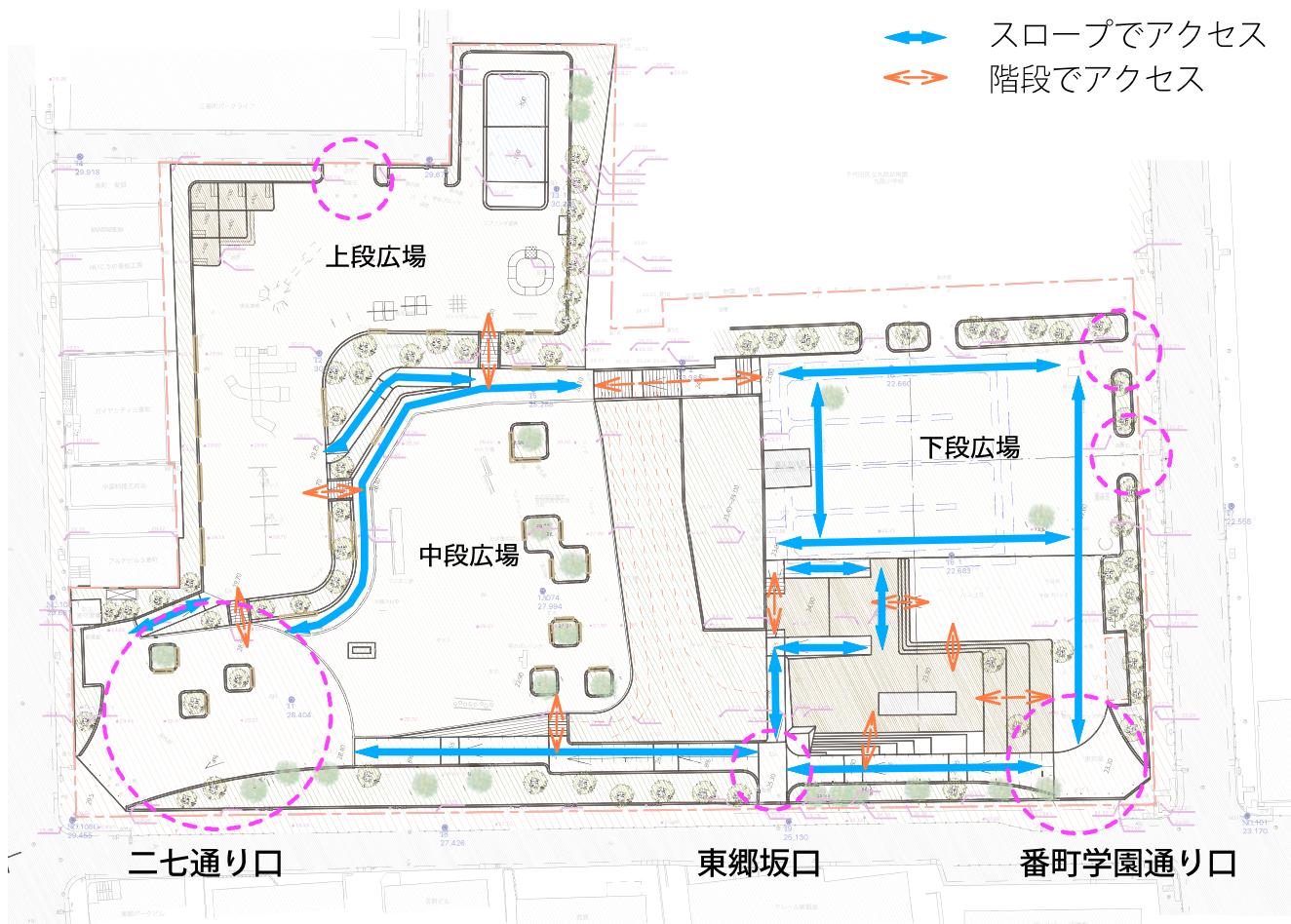


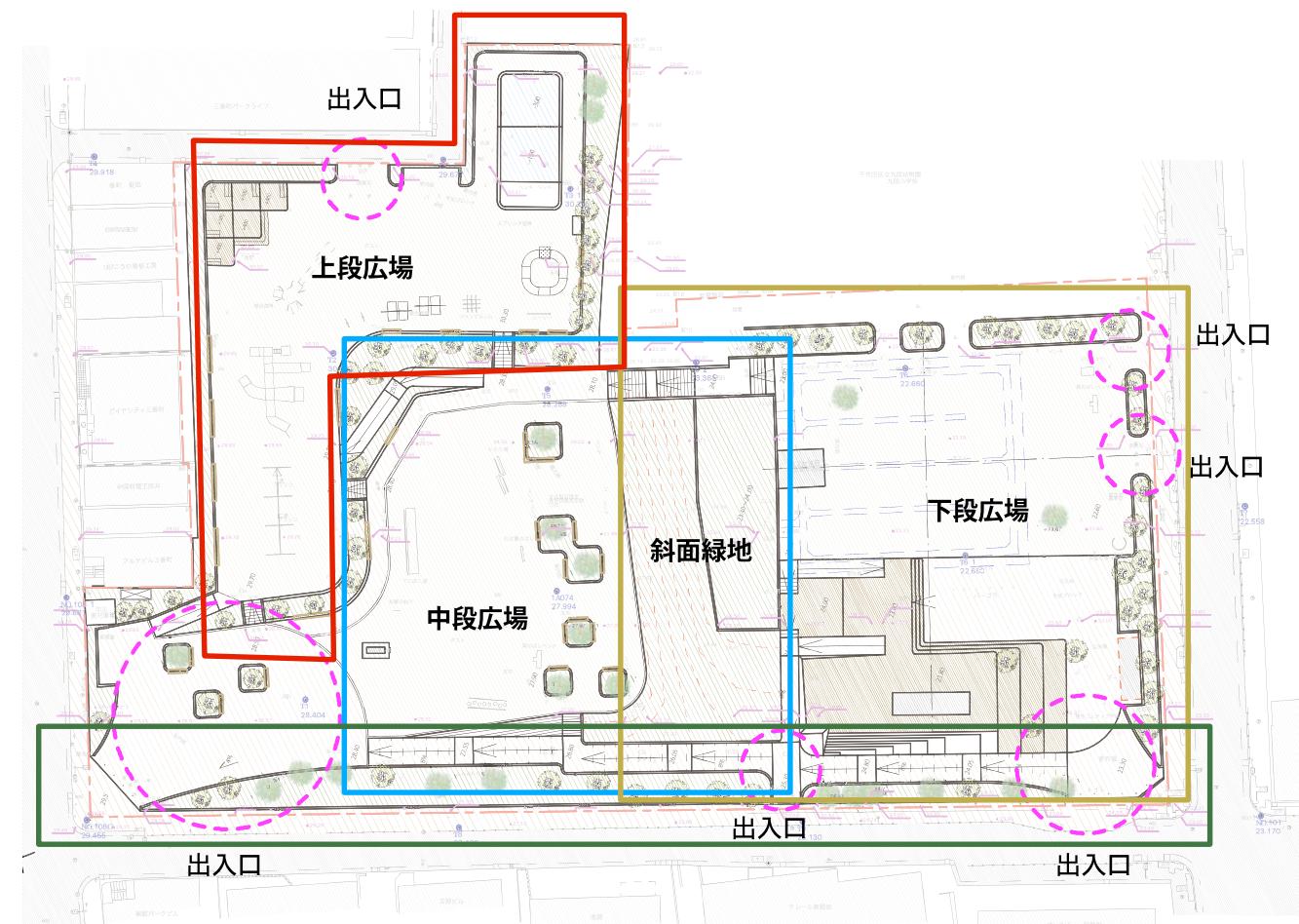
修正案

動線計画・ゾーニング

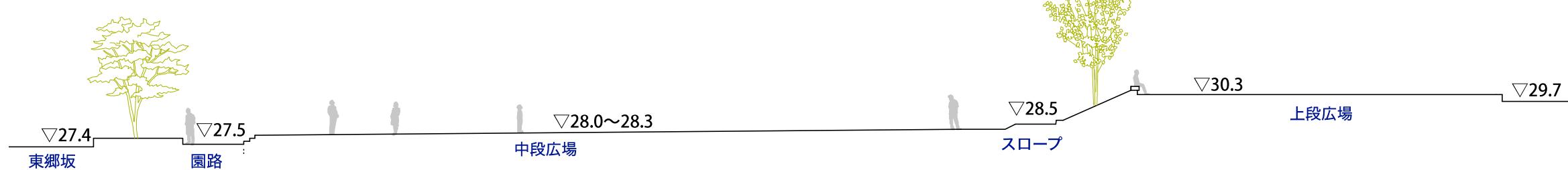
■動線計画



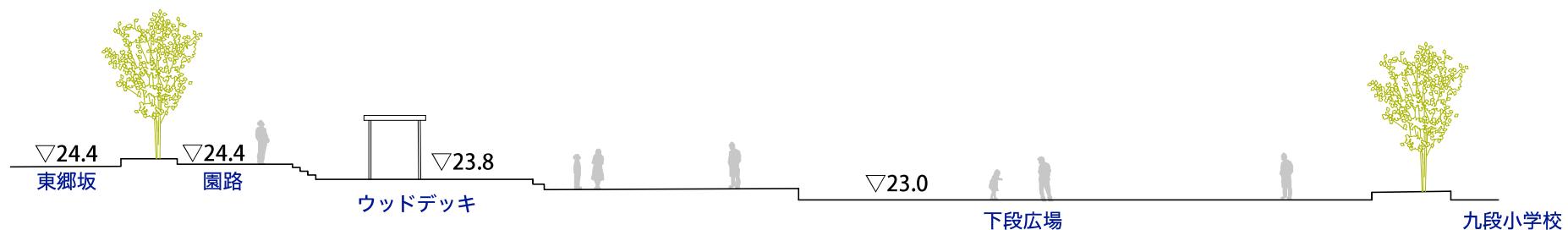
■ゾーニング



■A-A断面図 (S=1/250)



■B-B断面図 (S=1/250)

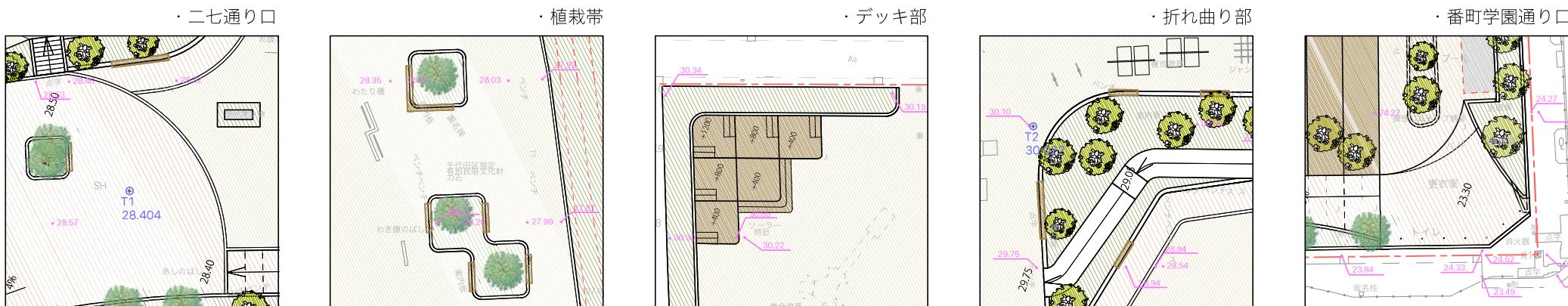


デザイン的な配慮事項

東郷元帥記念公園は約6mの高低差があり、下段広場、坂、中段広場、上段広場に分かれている公園である。
分節されており、全体を見渡せる場所はない。1つの公園として認識され、多様に使ってもらうために、
デザイン的な配慮が必要である。

・形状の統一

直線を基本としながら、端部や素材の切り替え箇所に曲線を使用する。
曲線を用いることで、柔らかい印象を与える。



・素材の統一

使用する素材を統一する。極力、素材の数を増やさないことで、
公園としての統一性を印象付ける。多くのこどもが使う場所のため
本物の素材を極力使用する。ストリートファニチャーについても
同様に素材・形状・色彩の統一を図る。



・納まりの統一

素材同様、細かい納まりや、異素材の組み合わせについても
統一を図ることで、公園全体の一体感を担保する。

